

ぱすてるRIBBON

～今号のぱすてるリボン～

○夏期特別講習 2021 のご案内 ○夏号の「のぞいてみよう！」

○ティーチャーズ ○札幌市資料館写生会のお知らせ

○まんが入門コース講座作品 ○生徒さんの作品 ほか

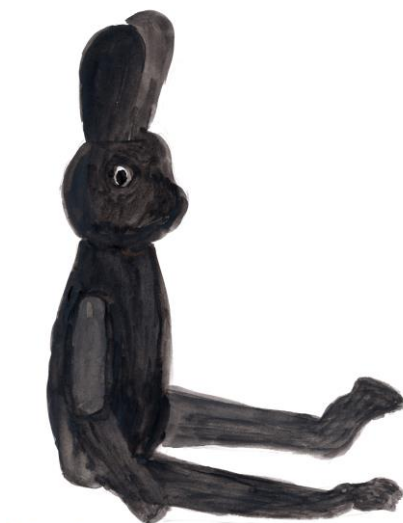


～アビターレ・デイサービスレッスン 生徒さんの作品～



児 三文字

文字様「ダッフィー」



S. Tamura

繁子様「ウサギさんの置物」



R. Tamura

律子様「パプリカとウサギ」



Y Nishio

淑枝様「クマちゃんと花々」



玲子

玲子様「春のあひる」



Hirai

勲様「テディベアとアイリスとバラ」

春期特別講習 2021

ご参加ありがとうございました

2021年3月24日(水)～2021年4月11日(日)までの期間、大通教室にて冬期特別講習を行いました。今回もたくさんのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。

Aコース「2, 3才児 60分・年少組 90分・園児 150分・小学生自由研究 150分コース」

(講師：齋藤 来瞳)

今年度の春期講習も未就学の生徒さんから高学年の生徒さんまで様々な年齢層の生徒さんにご参加いただきました。工作の釣り飾りや工芸の布ペイントでは、制作するテーマを決めるところからスタートしましたが、それぞれ自身の思い浮かべたコトを頭の中でおおきく膨らませながらオリジナリティのある作品を生み出してくれました。工芸のおうちスケジュール表でも、おうちのスケジュールだけでなく、学校の時間割りや給食の献立など各々でテーマを決めて制作を進めてくださいました。このように自身で考え手を動かすことがよくできた春季講習であったと思います。そして、生徒さんたちにとって春の楽しい思い出になるといいなと思います。

Cコース「中学生からの美術の基本コース」

Dコース「油彩・水彩・デッサンコース」

(講師：岩田 美香)

新小学5年生から新中学3年生までのご参加があり、それぞれが好みや目的に合わせて制作をしてくださいました。透明水彩絵の具で水彩画の基本を学んだり、静物デッサンを通して表現力を伸ばしたり、アキーラ絵の具で自然を描くことにより色彩の表現力を学んだりと様々でした。特に人気だったのは、中学の美術科対策で、ほとんどの小・中学生が様々なポーズの手をデッサンしました。どの受講生も制作を重ねるごとにどんどん上達し、しっかりと技術と個性が伸びました。夏期講習でも中学の美術科授業対策や、コンクール作品制作などに是非ご活用ください。

Sコース「受験・特別コース」

(講師：岩田 美香)

新年度を迎える直前の春休みに集中して基礎からじっくりと学んでいただきました。石膏デッサンを通してデッサンの基礎固めをしたり、油彩画を長期間かけてじっくりと制作したり、大谷高校美術科入学課題の自画像デッサンと水彩画を制作したりと受講生の制作内容も目的によって様々でした。どの受講生も短い春休みに計画を立てて、しっかりと完成することができました。夏期講習Sコースでは志望校に合わせて基礎から応用までの課題に取り組みます。受験生にかかわらず、どなたでも受講できます。個別指導ですのでご自身のペースでじっくりと学んでいただけます。是非ご参加ください。

Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」

(講師：湍谷 希李)

このコースでは、題材となるモデルの観察と画材を使うことを軸とした活動を行います。工作と比べて少し自由度の低さがあります。しかし、同じ画材、同じモデルを使っても、子どもによって全く違った魅力のある作品ができます。改めて、子ども達それぞれの個性の違いを考えさせられる機会になりました。

まんが入門コース

(講師：笹木 香里)

まんがコース担当の笹木です。今回も沢山の方にご受講頂き誠に感謝申し上げます。初めてのご参加の方が数名いらっしゃり、触れた事のない道具や初めて体験する漫画の技法などの説明を熱心に聞いていらっしゃる姿が印象的でした。そして実際に自分で物語を考え、4コマの中にどのように収めるかを一生懸命に手探りしながらのネーム作りには皆さん苦労されていたように思います。「4コマ目が難しい」と時間をかけて悩んでいた生徒さんもいらっしゃいましたがその通りで、物語の終わりに「オチ」をつけることはとても難しいのです。「起承転結」という言葉があります。お話を考える時はこの要素のバランスがとても大事になります。4コマまんがはそれのごくシンプルな形式のスタイルであるだけに真剣に作ろうとするととても難しいのです。今回受講された方はそんな体験が出来ていたら嬉しく思います。是非また夏期講習や月に1度のまんがテクニック応用へもご参加下さい。

点描画の入門コース

(講師：佐藤 香織)

点描画入門コースではインクについて知ってもらったり、色んなペンの試し描きやウォーミングアップとして簡単な点を打って頂いたあとにリンゴの描写をして頂きます。その後は応用コース1となり、描きたいモチーフがあればリンゴの空想デザイン画をして頂くのですが、今回は恐竜が大好きな生徒さんが時間いっぱいかけて恐竜の点描画を力作に仕上げてくださいました。

春期から応用2が開設されました。こちらも意欲的にカニの点描画をカラーで仕上げてくださいました生徒さんがいらっしゃいます。この度は人数も増え、作品の見せ合いっごうができたりと前回とはまた少し違う雰囲気の中での講習となりました。受講して下さった方々ありがとうございました！長時間の集中本当にお疲れ様でした。

夏期特別講習2021

今回も充実した内容をたくさんご用意しております。講習期間中もお申し込みいただけます。たくさんのご参加お待ちしております。詳しくは各コースのご案内プリント、HPをご覧ください。

受講会場 リボンハウス絵画教室 大通教室（住所：札幌市中央区大通西6丁目6-9クリーンビル3F）

期間 2020年7月24日（土）～8月22日（日）予定（日程が変更になる場合があります）

- Aコース「2才、3才児 60分・年少組 90分・園児 150分コース・小学生自由研究 150分コース」（7/24～8/17 開講）
- Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」（7/24～8/17 開講）
 - ☆ずこうのきほん（年少組 90分～小学4年生）
 - ☆デッサンの基本・透明水彩の基本・デザインの基本（小学3年生～小学6年生）
 - ☆美術ステップアップコース
- Cコース「中学美術科授業対策コース（170分）」（7/24～8/22 開講）（岩田講師クラス）（小学5年生～中学3年生対象）
- Dコース「芸術コース（180分）」（7/24～8/22 開講）（岩田講師クラス）（高校生以上対象）
- Sコース「受験・特別コース」（7/24～8/18 開講）
- まんが入門コース（小学3年生～大人の方対象）（7/25～8/22 開講）
 - ☆ステップ1「4コマまんが入門 90分コース」 ☆ステップ2「ストーリーまんが入門 120分コース」
 - ☆まんがスキルアップ 120分コース（ステップ2を修了された方）
- 点描画の入門コース 120分（小学生 90分）（小学1年生～大人の方対象）（7/25～8/22 開講）
 - ☆点描画お試しコース（2回） ☆入門コース（3～5回） ☆応用コース（3～5回） ☆発展コース（3～5回）

申込み受付 夏期特別講習中も受講をお申込みいただけますが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込み先・お問い合わせ

TEL 011-232-6715 FAX 011-232-6715

（※教室が閉室の際はFAXが繋がりません。お手数ですが、開室時に再度FAXを送信してください）

MAIL ribbonhouse_artschool@yahoo.co.jp

時間 スケジュール表をご覧ください。（講習期間中も受講受付しております。お気軽にお申込みくださいませ）

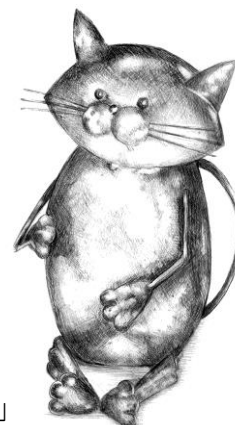
「緊急事態宣言」により臨時休講しました

新型コロナによる「緊急事態宣言」を受けて、5月16日（日）から30日（日）までの期間、臨時休講とさせていただきます。生徒の皆様並びに保護者の皆様には、ご迷惑をお掛け致しましたことを心よりお詫び申し上げます。今後も、新型コロナの感染状況によっては臨時休講を延長させていただく場合がございます。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

代表：岩田 美香



一般コース女性
「ねこがいない？」



一般コース女性
「うさぎはどこ？」



◆幼児・小学生コース

(講師：徐 夢萍)

3月はお雛様ストラップ制作から始まり、可愛い人形たちを紙粘土で作りました。生徒さんたちがお花の水彩画やピン、果物等のデッサンを頑張って表現したい姿を描きました。子供特有の色使いや、タッチなどは素敵だと感じました。その他、例年あって「金曜ランチ」の看板作品を制作しました。4月はこいのぼりと母の日のプレゼント制作を中心にしました。可愛い作品が沢山完成しました。自分のためにだけではなく、母のためにプレゼントを色々考え、皆さん素晴らしいです。それぞれの作品完成後は、コンクール制作「みつばちの一枚画コンクール」の制作に入りました。美術を学ぶ充実な時間を過ごしたと思います。

◆一般コース

(講師：岩田 美香)

春の花やパプリカやレモン、リンゴの静物デッサンをし、更に透明水彩絵の具で制作をして絵画の基本を学んでいただきました。その他、ワインのビンとリンゴ、レモンの水彩画を制作して表現力を高めていただきました。

小学生コースから移られた小学5年生、6年生たちも中高生、大人の受講生に交じって真剣に制作をしてください、メキメキと上達しております。既に年末の「クリスマス展示会2021」に向けて油彩画や水彩画を制作している生徒さんもいっしょに、とても嬉しく思っております。新年度からまたどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆受験・特別コース

(講師：岩田 美香)

昨年度は、全ての受験生が合格を果たして進学されました。新年度に入り、受講生はわずかですが志望校に向けて毎レッスン、デッサン力と表現力をじっくりと磨いております。夏休みまでは基本に取り組んでいただき、レベルアップしていただく大切な期間です。中3、高3にかかわらずどなたでも受講していただけます。未来に夢を実現できるように是非、今から取り組んでいただきたいです。たくさんのご参加をお待ちしております。

◆テイケアクリニックレッスン

(講師：岩田 美香)

1999年8月から金曜の午後に、花や野菜、果物などの静物をデッサンしたり、色鉛筆や透明水彩絵の具で仕上げるレッスンを開講しております。ご自身でテーマを設けて描いている方も多く、ネコのイラスト画や4コマまんが、人物画、動物のイラストなど意欲的に制作してくださっております。既にクリスマス展示会に向けて着々と制作が進んでおり、和やかな中でも熱の入ったレッスンとなっていて嬉しく感じております。

◆アビターレ・テイサービスレッスン

(講師：岩田 美香)

2014年5月から木曜の午後に花を中心に、野菜や果物、その他様々なモチーフをスケッチして、透明水彩絵の具で仕上げるレッスンを開講しております。皆さんメキメキと上達されて、レベルの高いレッスンとなっております。ご自身の苦手な部分を克服しようと熱心に取り組んでおり、作品の完成後の講評ではメンバーの皆さんが互いに評価し合い、次に生かそうと意欲に溢れています。90才台を中心に、86才から102才までの受講生の皆さんの今年度の上達がとても楽しみです。

◆クラーク記念国際高等学校美術デザイン授業

(講師：岩田 美香)

新年度からクラーク記念国際高等学校で美術デザインの担当を受け持っております。4月28日にプレゼンテーション授業を行い、5月12日オリエンテーション、その翌週から「デッサンの基礎」を高校1年生から3年生の生徒の皆さんに学んでいただいております。クラーク高校でも芸術の選抜教科に美術デザイン科を加えるのは初めてとあって、毎回緊張しつつとても楽しく授業をさせていただいております。生徒さんの中からアートの世界に進んでくださる方が現れてくれたらと願っております。これからどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ペンネーム：かづき
「ドローイング」

中3女子
「えらいなめこ」





◇人混みの中で見た花火 (講師：笹木 香里)

幼児・小学生コース担当の笹木です。今になって足運んで花火を見に行ったりすることも無く、夏になると遠い所で聞こえてくる花火大会のポンポンという音を楽しんでいるくらいになっています。花火で思い出すのは小学生の頃に、クラスメイトに豊平川の花火大会へ誘われたことです。すすきので降り豊平川へ歩いて向かうのですが、道のりからすでに大変な人混みで友人達とはぐれないように歩くので精一杯でした。豊平川へ到着するまでにかなり時間を要しそこからまた場所取りをするのにも、空いている所を見つけるのにも時間がかかり、気がつけば花火よりも地面を見ている時間の方が長かったのでは無いと思うくらいでした。でも、目の前いっぱい広がる打ち上げ花火の色彩や破裂音の迫力などに圧倒されて空を見上げる事に夢中になった記憶があります。小学生の私にとって「お友達だけで夜の札幌の中心部へ行く」ことが大冒険でした。

◇打ち上げはなび (講師：城島 勝美)

その頃、私は岸和田市という町に住んでいました。南海電車で職場と家を往復する暮らし。その日も「疲れたなあ～」と思いながら電車で揺られ、座る席もなく海側をぼーっと眺めていました。するとパアッと花火があがったのです。花火がひゅ～と上がり、ぱっと開いて、だらぁ～と落ちていくさまを見ていると、温かい気持ちになりました。花火が見えたのは、①南海電鉄が高架工事を終えていた区間だったこと。②仕事で数十分残業をしたこと。③電車内では席が無く、立って海側を眺めていたこと。それらが、ベストタイミング！に重なった“おかげ”です。花火が上がると、私の気持ちもアガりました。これが私の花火の思い出です。

◇高校の夏合宿 (講師：矢野 亜柚)

ある日部活の合宿のレクを考えてたところ、後輩の1人が「合宿で花火をやりましょう!!」と声をかけてくれました。当日はパルプアート(カメラのシャッタースピードを遅くして花火やペンライトで文字を書く)ということをしてみたい、線香花火を楽しんだりしました。友人たちとの花火はとても良い思い出です。

◇花火鑑賞の穴場 (講師：澁谷 希李)

私の花火鑑賞の穴場は、今私が住んでいる寮の4階です。去年は花火大会の会場で鑑賞することが出来なかったの、先輩と一緒に寮の4階から花火をみました。その思い出があるので、私の花火鑑賞の穴場スポットはそこになっています。

◇花火の思い出 (講師：佐藤 香織)

子供の頃、家の前で家族やご近所さんや親戚の子と一緒に花火をして楽しかったな～ということを思い出しました。花火の楽しかった思い出はそのぐらいであとは花火大会に行ったら飛んできた灰が目に入って痛かったとか帰りの人込みで圧倒されたとか雨のせいで開始時間が遅れて寒すぎて風邪をひいたとかそんな残念な内容のことしか思い出せませんでした。パラシュート花火が好きでした。今の子ども達はどんな花火で遊んでいるのでしょうか？調べてみたら「ひとだま」という知らない花火が出てきて少しわくわくしました。これで遊んでみたい！去年はおそらく作り難かった夏の楽しい思い出を、子供たちが今年は少しでも多く作れていますようにと願います。

◇父との思い出 (講師：齋藤 来瞳)

私は地元が帯広市なので毎年「勝毎花火大会」へ行っていました。中学3年生までは毎年お父さんと2人で河川敷まで自転車をこいで行くことが我が家のイベントの1つでした。父は、普段時間がすれ違って中々会話ができなかったのゆっくりに話せるいいきっかけでした。部活や塾の終わりにジャージのまま用意し、ママチャリに乗ったお父さんとおしゃべりしながら河川敷に向かう時間は、私にとって花火を見る時間よりも楽しい思い出です。高校生からは家を出て寮に入ってしまう、お父さんと話す機会も減ってしまったけれどコロナウイルスが終息し、また勝毎花火大会が開催されるようになったら今度は私からお父さんを花火に誘って2人で他愛もない話をしながら見に行きたいなと思います。

◇花火 (講師：徐 夢萍)

2019年に真駒内花火大会を見に行きました。場内前の席を取りましたので、近く花火の様子を見るとすごく綺麗でした。静かな夜空に突然、空が明るくなるのを感じました。私はすぐに顔を見上げました。すごい紫色の「ハート」が空から落ちてきて、私は喜びのあまり飛びあがりました。空に舞い上がる明るい真珠がどんどん大きくなって突然爆発すると、何とも言えないほど美しい花が無数のオレンジレッドの小さなダイヤモンドのように空から落ちてきました。その直後、花火が四方八方に打ち上げられ、空を明るく照らしました。多くの種類の花火が空を飛び、爆発して落下しました。明るい小さな星のようなもの、秋に咲く菊のようなもの、魅力的なブドウのようなもの。美しい花火は色とりどりで様々な形をしていて、一晩中眩しくなり心を動かされました。

◇夏も冬も花火はステキ♪

(講師：岩田 美香)

私が子どもの頃は、レジャーやアミューズメントなどあまりなかったので、花火大会は毎年楽しみなイベントでした。夏休みになると、毎週のように大きな花火大会が豊平川の河川敷であり、打ち上げ場所からは遠かったのですが、レジャーシートを敷いてワクワクして眺めました。その頃は、豊平川の堤防沿いには舗装道路がなくて騒音も今ほどなかったの、遠くから眺めていても花火の音がびっくりするほど大きく感じました。豊平川の河川敷にはまだ蛸もいて、豊かな自然が札幌の街にありました。

夏はジンギスカンやバーベキューを庭先などで楽しむのが北国の定番ですが、昭和の頃も盛んで、特に親戚が集まった時は、バーベキューの後に手持ち花火でいとこたちと遊びました。親戚のおじさんが打ち上げ花火を上げてびっくりしたりと子ども心にサプライズがいっぱいでした。お盆のお墓参りでは、墓前で花火をしたことも。花火の思い出はいっぱいあります。

思い出 No.1 の花火大会は、中島公園で行われた冬の花火大会です。打ちあがるたびに空と雪が美しい色彩に染まり、今でいうとプロジェクションマッピングのようなおとぎの世界が広がりました。

No.2 はディズニーランドのカウントダウン。大晦日の真夜中にぎゅうぎゅう詰めの中で、寒さに震えながらじっと待ち続けてようやく打ち上げられた花火。ミッキーの背景に連続花火が煌めき、新しい年を迎えました。年末で疲れた心と体が一新し、感動で涙が溢れました。

No.3 は空から観た花火。藻岩山の頂上や飛行機から花火を観たことがあります、小さな球体でまるで手鞠がふわりと上がるように見えました。

海外ではまだ花火を経験したことがないので、カーニバルやスタジアムで見たいです。早く自由に旅ができればと願うばかりです。

ティーチャーズ Teachers ～各自のテーマ～

◇ストレス削減の三原色？ (講師：城島 勝美)

「雑談・歩く・歌う」(歌は下手の横好き)ことが好きで、これがストレス解消だと気づいたのは12年程前でした。その頃、富良野市(農作業ヘルパー)と泉佐野市を往復すること数年間。農作業は朝が早く、体を使い夏の日差しで体力がもちません。夜の8～9時頃には眠りにつき、睡眠時間を8～9時間とると翌朝はスッキリと起き今日も頑張るぞと元気でした。会社員時代には考えられない生活です。頭を沢山使い疲れているけど、夜中1～2時まで起きていて、翌朝は頭がぼーっとしていたのです。そんな頃は、お菓子を沢山食べていました。ストレス解消だったのでしょ。農作業の際は週に一日の休みでしたが一ヶ月過ぎれば身体は慣れました。休みには河川敷を散歩(鼻歌つき)すると、頭もスッキリし、道ばたの花や虫の声に気づきました。農作業中は寮生活です。農作業から帰ると、すぐ食堂で食事をしながら雑談して笑ったり共感したりを一時間すごして部屋に帰ります。洗濯しているうちにお風呂に入り、ひとりの時間を過ごし寝るといった生活でした。日常のルーティンを作り、少しずつストレス解消しバランス良く過ごした事が良かったのだと思います。このように、私のストレス削減三原色を見つけました。色んなものを組み合わせて自分だけの色を見つけて欲しいと思います。

◇オズの魔法使い

(講師：笹木 香里)

読書が趣味ですが、主に古い作品、名作といわれている作品を読むのが好きです。昨年、そういえば内容を知らないなと思い『オズの魔法使い』を購入しました。読んでみるととても面白く、最後まで飽きさせない展開で夢中になって読みました。すっかり感激して前書きの作者さんの言葉に目を通してみると、作者はグリム童話やアンデルセン童話などの古典童話には寓意や教訓がつきもので、そういうのでは無く子ども達が自由にただ楽しめるお話を書きたいと思った、と書かれてあります。しかしその言葉が書かれたのは今から100年前のことです。私からみるとこの作品も充分「古典童話」であると思えるのに、当時の作者は新しい境地を開いて行こうという思いで作品を書いていたんだと感じました。世界は常に誰かが換骨奪胎を試みている歴史があるんだと感じます。今度はどの作品を読もうかとワクワクしながら本屋さんを回っています。

◇絵を展示すること

(講師：矢野 亜柚)

みなさんは毎年札幌駅の天井に動物が描かれた黄色い旗がたくさん吊るされているのを見たことがありますか？ハッピーフラッグといって私が小学生の頃からあるイベントです。2月に友人の紹介でJRタワー主催のハッピーフラッグ会場の運営のお手伝いをしてきました。コロナ禍で展示会の開催が少なくなっていたので今年も例年のように開催することができて良かったです。子供たちが絵を描き、それが多くの人の目に止まる場所に展示される機会があるのはとても素敵なことだと思います。これからも私自身そのような活動に積極的に携わっていきたいです。ぜひみなさんも絵を描く側としていろいろなコンクールやイベントに参加してみてくださいね。

◇夏といえば

(講師：佐藤 香織)

8月でリボンハウス絵画教室の講師になってからおおよそ1年が経ちます。目の前のことをひたすらこなしていたら本当にあっという間に1年が経ちました。早いなと月並みなことを思いますし、おそらく1年後また同じことに思いを馳せます。勤めるにあたってはまず生徒さんの顔と名前を覚えるところから始めました。意識的に書いたりレッスン内で呼ぶようにしたり、接してるうちにわかってきた個性のことをふまえてお声かけの内容に幅を増やしたり…などと日々こなしてるうちに1年前にはできなかったことができるように！そしてまだこれができないな～という点も見えてきましたので次の課題となりますね。また1年後にここか、心の中で振り返ってみたいと思います。私にとって夏と言えば「リボンハウスに来た頃を思い出す」です。

◇家に眠っているお宝

(講師：齋藤 来瞳)

約半年振りに帰った実家でたまたま目にはいったフィルムカメラ、インテリアと化してて今まで目に入らなかったけれど使えるのかと思い手に取ってみました。旅行に行くこともないのでカフェにはいったときになんとなく構えてみたり、そこらへんに生えている草木をとってみたり…こんなもんかなとなんなく行動して、なんとなく現像します。今の時代は現像時にプラス料金を支払うと、デジタル化したデータがもらえるのです。もちろんお金を払ってスマホに取り込んでもらいました。カメラフォルダをみると、暗くてなにをとったのかわからないものやピントがあっておらずぼやぼやしたものなど個性溢れる日常が写っていました。それをみて、私は今まで日常を振り返らず急いで生きていたな、目に映るものの美しさを忘れていたことを思い出せました。創造のヒントは日常の中にこそ隠れていると改めて考えさせられました。

◇人生は一本の線

(講師：徐 夢萍)

数年前に『人生は一本の線』を読みました。美術家の篠田桃紅さんが書いた本です。篠田さんの作品と言葉が載った美しい本です。日本語はまだ勉強中の私にとって、とても読みやすいレイアウトになっています。一つひとつの言葉が、優しいだけでなく凛とした筋が通っていて、作品と共通したキリリとした雰囲気を感じることができます。墨を使った独特の抽象画で知られ、100歳を超えても旺盛な創作活動を続けています。今年亡くなったことをニュースで知りました。悩んだ時にこの本から色々勇気や感動をいただきありがとうございました。

◇海水浴

(講師：澁谷 希李)

夏といえば海水浴やキャンプなど、レジャーが楽しみになるシーズンですね。私の地元は自然に恵まれていて、海にも山にも徒歩10分ほどでたどり着くことができます。そんな環境もあって、私は夏になれば毎年友人と海水浴に行っていました。しかし、去年はコロナ禍のため帰省自体が難しく、それが出来ないまま夏を終えることに…。今年こそはできるといいなと願うばかりです。



札幌市資料館写生会開催のお知らせ



「こどもと大人の写生会」 主催：札幌市資料館 共催：リボンハウス絵画教室
資料館の前庭や裏庭にて、札幌市資料館や大通公園を題材とした写生会を実施します。
※雨天時は資料館 2F 研修室にて実施

札幌市資料館写生会

日時： 7月10日(土) 9:30~12:00
住所： 札幌市中央大通西13丁目
申込締切：7月7日(火) 16:00まで
持ち物： 画材・画板・しき物・飲み物・弁当とおやつは任意
募集人数：大人からこどもまで先着20名様(参加費無料)
参加方法：「リボンハウス絵画教室2021年度写生会
申込用紙」にご記入の上、担当講師に提出してください。
注意：
・完成作品を札幌市資料館内で展示します。
(展示日程は、写生会当日にお伝えします)
・写生会終了後(12:00~12:30)、バルーンアート
ワークショップ開催(自由参加)。

当日のスケジュール

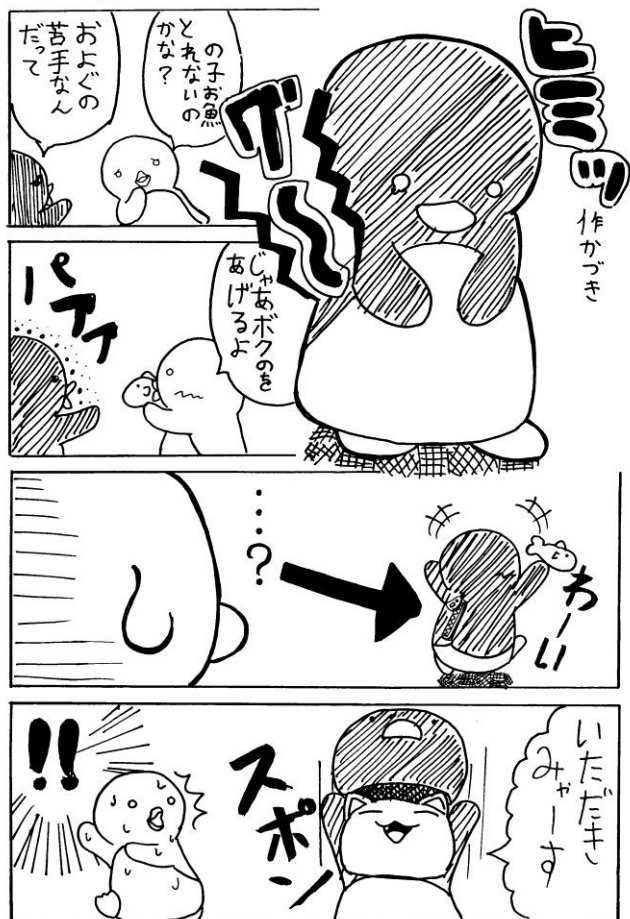
9:30	札幌市資料館 2 階会議室集合 資料館館長さんの写生会開催の挨拶と当日のスケジュールのご案内
9:45	正面玄関前で集合写真撮影 (画用紙配布)
10:00	スケッチをお楽しみください。 (お弁当、おやつは任意です)
12:00	写生会終了(リボンハウス絵画教室講師も指導終了とさせていただきます)
12:00	バルーンアート開催(自由参加)
12:30	

※ご参加の方は新型コロナウイルスの感染予防対策のご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルスの感染拡大により外出自粛を受けた際は、開催中止とさせていただきます。



「ヒミツ」

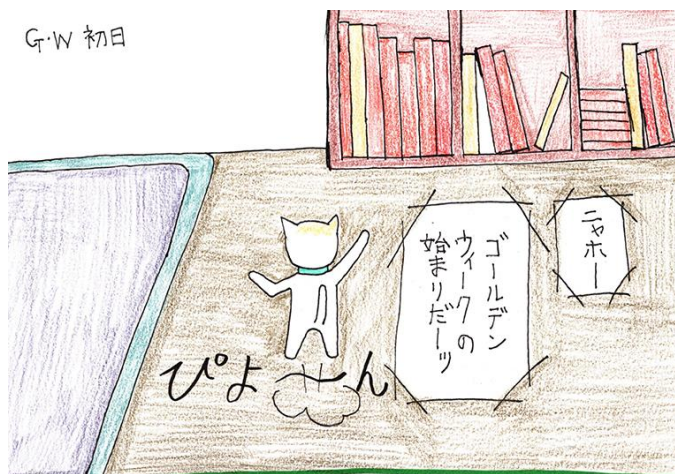


ペンネーム：かづき「ヒミツ」

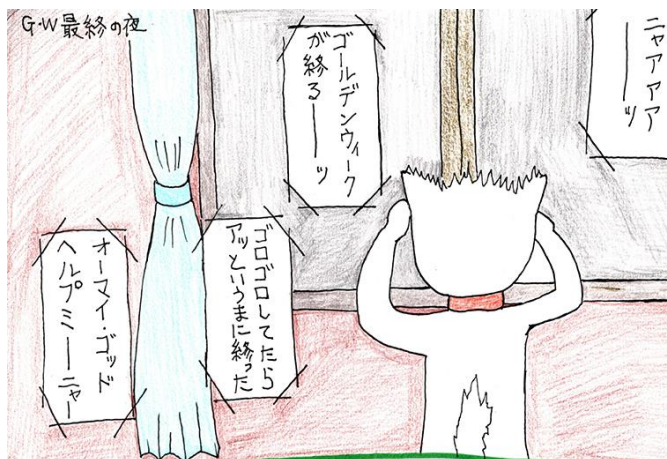


ペンネーム：ゆつき（小4）「楽しいスキー」

G・W 初日



一般男性「吉田にゃんこのGW」1



一般男性「吉田にゃんこのGW」2



アビターレ・デイサービスレッスン 生徒さんの作品



ケエ子様
「ミモザ」



八重子様
「春の花たち」



昌子様「シクラメン」



慶子様「シクラメン」



靖子様「シクラメン」



榮子様
「ガーベラ」



玲子様
「春の食卓」



大通教室（本部） ☎060-0042
札幌市中央区大通西6丁目6-9 クリーンビル3階
アビターレ・デイサービス教室
大通デイクアレッスン教室

<http://www.ribbonhouse-artschool.jp/>